



●11/17 「助け合い」に感謝

甚大な被害をもたらした7月豪雨災害。この日、市役所では、市民のために活動された団体に対する感謝状の贈呈式が行われました。

対象は、地域団体や市民団体、民間事業者などあわせて33団体。

國島市長は「九州以上の雨量があったが、尊い人命を失わずに済んだ。助け合う地域の力と地元事業者の昼夜を問わない懸命な復旧作業があつてこそ。今後も皆さんと力をあわせて災害に強いまちを築きたい」とコメントしました。

●11/18 根付アワードで優秀賞

天性寺町の中畑登さんが、現代根付の審査会「第7回ゴールデン根付アワード」でグランプリに次ぐ優秀賞を受賞。この日、市長に受賞の喜びを報告されました。

受賞作「出合い」では、籠灯の光に誘われた雌雄のカブトムシが出合う瞬間を表現。手のひらに乗るほどの小さな作品には本物と同じ仕掛けが施され、中にある口ウソクほどの角度に傾けても倒れないようになっています。

* 籠灯：江戸時代に使われた懐中電灯のようなもの



▲受賞作「出合い」
■中畑さん提供

●11/19 日展に8度目の入選

改組 新第7回日本美術展覧会（日展）の書部門で入選した竹原悠崖（本名：寛太）さんが市役所を訪れ、受賞の喜びを報告されました。

竹原さんは飛騨高山高校で教鞭をとりながら、書道部を指導。忙しい合間を縫って、自身も書と向き合っています。

今回で8回目となる入選。竹原さんは「もっと活躍している市内の先輩はたくさんいます。まずは入選10回を目指して取り組んでいきたいです」とコメントされました。



●11/27 市内初の金賞

ものづくりに携わる若者たちが腕を競う「技能五輪全国大会」。今年も、市内から2人の入賞が決定しました。

この日、市役所を訪れ喜びを語ったのは飛騨産業（株）の浦谷大司さんと、川辺瑞葵さん。

2人はいずれも家具部門に出場し、2年連続の入賞を果たしました。浦谷さんは昨年の銅賞をバネに、悲願の金賞を受賞。川辺さんは、昨年に引き続き銅賞を受賞されました。

匠のDNAは未来を担う若者たちに受け継がれています。



2020.12.15